

◎住宅困窮理由

次の（ア）から（カ）までのいずれかに該当する住宅困窮理由に○印をつけ、その理由を記入してください。

| | |
|---|--------------------|
| 住宅困窮の理由 | 左記の具体的状態を記入してください。 |
| （ア） 住宅以外の建物若しくは場所に居住し又は保安上危険若しくは衛生上有害な状態にある住宅に居住している。 | |
| （イ） 他の世帯と同居して著しく生活上の不便を受けている又は住宅がないため親族と同居することができない。 | |
| （ウ） 住宅の規模設備又は間取りと世帯構成の関係から衛生上又は風教上不適当な居住状態にある。 | |
| （エ） 正統な事由による立退きの要求を受け適当な立退き先がない。又は、高額所得のため町営住宅の明け渡しの請求を受けている。 | |
| （オ） 住宅がないため勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。 | |
| （カ） 上記以外の理由 | |

◎収入証明

※ 所得証明書、各種年金証書（写し）をこの部分に貼付してください。

※ 事業主月別収入証明書の方は、下記に証明を受けてください。

| | | | | | | | | | | |
|--|-------------------------------|---------|-------|-------|---|---------------------------------|---------|-------|-------|--|
| 従業員氏名 | (歳) | | | | 勤務所在地 | | | | | |
| 従業員住所 | | | | | 職 種 | | | | | |
| 月 別 | 本 俸 | 扶 養 手 当 | 諸 手 当 | 支 給 計 | 月 別 | 本 俸 | 扶 養 手 当 | 諸 手 当 | 支 給 計 | |
| 月 | | | | | 月 | | | | | |
| 月 | | | | | 月 | | | | | |
| 月 | | | | | 月 | | | | | |
| 月 | | | | | 月 | | | | | |
| 月 | | | | | 月 | | | | | |
| 月 | | | | | 月 | | | | | |
| 住宅の状況 (該当するところに○印を付けてください。) | | | | | 総 収 入 金 額 | 円 | | | | |
| 1 公宅、社宅等があるが余裕がない。 2 公宅、社宅等を目下建設中である。 3 公宅、社宅等を建設する計画がない。 4 公宅、社宅等を建設する計画がある。 (年頃) 5 公宅、社宅等が全くない。 | | | | | 会 社 名 | ⑩ 上記金額を支払っていることを証明します。 | | | | |
| | | | | | 代 表 者 名 | | | | | |
| | | | | | 由仁町産業住宅申込に対して、入居決定後は由仁町産業住宅設置及び管理条例並びに同施行規則の規定を守り、連帯保証人は入居者と連帯して家賃その他の債務を保証することを誓約します。 申込者及び申込者と現に同居し、又は同居しようとする親族は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員ではありません。 退去時における畳の裏返し、及びふすまの張替え費用など規則で定める修繕費用並びに由仁町産業住宅に入居する者の責めに帰する事由による修繕費用を負担します。 | | | | | |
| 連 帯 保 証 人 現 住 所 | 由仁町中央○△□番地（電話 8 3 - 4 4 4 4 ） | | | | 申込者との関係 | 義 父 | | | | |
| 連 帯 保 証 人 勤 務 先 名 称 及 び 住 所 | (電 話 -) | | | | 連帯保証人氏名 (生 年 月 日) | 北海 二郎 ⑩ (昭和 29 年 1 月 5 日生) | | | | |

